



熊本の神社庁にお送りするそうです。取材班が手にしたのは復興祈願999枚目の御朱印で一筆一筆に復興を願う気持ちを感じられる重みのある一枚でした。

都会にありながら、こんもりと茂る木々の木漏れ日が優しい落着きのある佇まいの神社です。天照大神・応神天皇・天児屋根命を御祭神とする下神明天祖神社。樹齢600年を越えるカヤの御神木や区内最大の狛犬、最長の参道も見所です。
御朱印は平成28年11月現在、手書きで2種類あり、一つは天祖神社本来の御朱印。もう一つは昨年起きた熊本大震災復興を願い1月3日までの期間限定の御朱印でした。背景には神紋の花菱があしらわれています。「復興を祈願し一枚一枚心をこめて記し、参拝者にお渡ししています」と神主さん。受与料に祈袴を捧げ、

下神明天祖神社

【二葉1-3-24】



と眼下に雲があるような印章で山岳信仰の神社であることも感じられます。社務所で確実に御朱印を頂けるのはお正月か例祭日です。

大井蔵王権現神社

【大井1-14-8】
大井町駅からほど近く、参拝客が絶えない神社です。蔵王権現とは日本独自の山岳仏教の本尊です。御祭神は金鉞の神様で金運上昇、福德開運、夫婦円満のご利益があります。昭和63年に現在地に鎮座され、平成3年から荏原七福神めぐりの福祿寿も祀られています。
御朱印は御社号と荏原七福神の福祿寿の2種類があり、どちらも初穂料は300円です。御社号の印章印はめずらしい菱形をしており、これは先代が山岳修行されている時に八方除けの福德を得てこの形に決められたたそうです。よくみると眼下に雲があるような印章で山岳信仰の神社であることも感じられます。社務所で確実に御朱印を頂けるのはお正月か例祭日です。

冬の御朱印巡り

最近人気の御朱印巡りですが、マナーに気をつけていますか。本来御朱印は、寺社の思いが込められた「参拝の証」です。私たちもお受けする気持ちとマナーに気をつけて近辺の寺社を散策してきました。

【高木・和田・高島・平松・高橋・荻・神田・田上・部田・嶋村】



大井蔵王権現神社にて



養玉院如来寺の大佛

静かな住宅地を抜けると立派な山門が見えてきます。参道の奥、瑞應殿に大井の大佛として知られる五智如来坐像が安置されています。奉拝後、お話を伺いました。如来寺は明治時代に芝高輪から移転し、大正時代に養玉院と合併したそうです。境内には、釈迦如来及び両脇侍像が安置されている本堂や養玉院を菩提寺とした対馬藩主宗家、開山但唱上人、檀越の植村家の墓所や大正期の鉄筋建造物である万霊塔など見所がたくさん。また、布袋尊も安置されており、荏原七福神では福寿財宝をもたらす布袋尊の御朱印も頂けます。今回は五智如来奉拝にちなんで御朱印を頂きました。

鹿嶋神社

【大井6-3-24】
大井町から大森に向かう池上通り沿いにある境内には百数十本の樹木が茂り、神殿横にある樹齢300年を越える御神木のタブノキは見事です。平安期に常陸の国、鹿嶋神宮の御分霊を勧請したのが始まりで御祭神は武甕槌之神、勝負と武道の神様だそうです。現在の御社殿は昭和6年に竣工。精巧な鎌倉彫が施された旧御社殿は境内南側に移されました。
ご朱印は毎日9〜15時、初穂料300円で社務所にて頂けます。現在では交通安全・旅行安全の神として崇敬を集めています。
小さい頃から鹿嶋神社の大例祭を楽しみにしていた私ですが、今回の取材で改めて、大井の人にとって大切な存在であることを知ることができました。

鹿嶋神社

【大井6-3-24】

境内は小高い山で、四季の草木が楽しめます。桜の木もたくさんあるので、春先の散策もお勧めですとお話でした。皆さんも歴史探訪や七福神めぐりに訪れてみてはいかがでしょうか。



↑鹿嶋神社

↑養玉院如来寺

↑同右

↑下神明天祖神社

↑同右

↑大井蔵王権現神社

